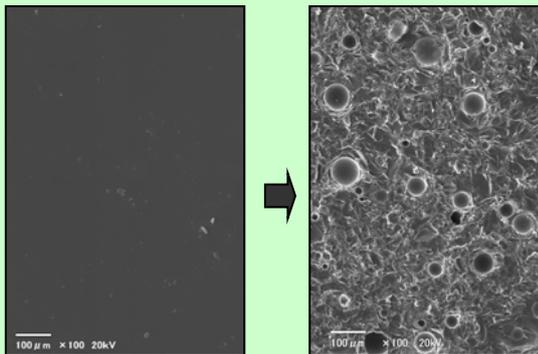


# 陶磁器の技術を活用したいぶし瓦製品

- 地域資源を活用した機能性いぶし素材の開発 (H21~22) -

愛媛県産業技術研究所 窯業技術センター 主任研究員 菅 雅彦

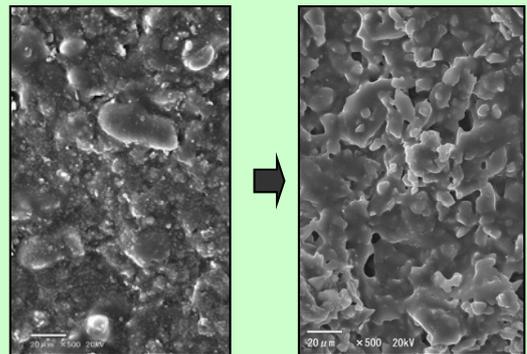
異素材（菊間瓦以外の素材）へのいぶし技術を検討しました。  
また、砥部焼の製造技術（ろくろ技術、釉薬など）を取り入れたいぶし瓦製品を企画・開発しました。



釉薬表面

サンドブラスト加工後

サンドブラスト加工による微細孔の形成



素地表面

粘土コーティング後

粘土のコーティング処理による微細孔の形成



盆栽鉢、花器、水蓮鉢等試作品



照明器具(電灯笠、ランプシェード)試作品

- ・陶磁器などの異素材をサンドブラスト加工や粘土をコーティング処理し、表面に微細孔を形成することで、剥離がなく接着強度のあるいぶし膜が得られました。
- ・異素材へいぶし処理した場合、瓦とは異なるいぶし光沢が得られました。
- ・従来のいぶし瓦にはない、ろくろ成形で薄い新商品（盆栽鉢、水蓮鉢、電灯傘、ランプシェード等）が開発できました。